

もうひとつのお金「ウェス土佐」

清流通信の読者の皆さん、こんにちは。今回は、停滞する村の経済を活性化させようとスタートした西土佐村地域流通商品券「ウェス土佐」についてご紹介します。

「ウェス土佐」は、地域通貨をモデルにした、全国でも珍しい循環型商品券で、西土佐村商工会が平成14年12月に発行を開始して1年余りを経過、今年で2年目を迎えました。

発行のきっかけは、県の13年度県民消費動向調査で、村民の村内商店利用率がわずか29.8%という低い数値が出たためです。人口減で消費自体が減少している上に、近隣の中村市や愛媛県への大型店進出により、今後もさらなる低下が危惧されることから、消費の村外流出防止策として始まりました。

「ウェス土佐」は、誰でも手に入れることができ、取扱店はいつでも現金化（手数料1%要）できます。また、利用は券裏面に署名し何度でも使える点が一般の商品券とも異なります。額面は1枚1千円の1種類。消費者が村商工会から購入し、村内の商店（取扱店）での支払いに利用し、受け取った商店は今度は自分の買い物で利用する。村内限定の商品券ですから、このように繰り返し流通し続けることで、村内にお金がとどまる仕組みです。

村商工会は昨年1年間で約544万円分を発行。平均流通回数が2.2回でしたから、約1,200万円のお金が村外に流出することを防げたこととなります。スタート時に40軒だった取扱店も現在は58軒と増加し、中には「ウェス土佐」利用の方に割引やスタンプサービスなどの特典をつけて利用促進を図っている店も多くあります。

地域通貨は全国各地で流通していますが、「村の経済的効果に特化した商品券として、ここまで通貨に近いものは異例」ということで注目を集め、県外の商工団体の視察も相次いでいます。

村商工会は「将来的には行政にも協力いただき、公共料金の支払いや公共事業の代金の一部にも利用できるなど、利用の幅を広げることで村の経済活性化につなげたい」と意欲的です。

●お問い合わせ 西土佐村商工会 TEL.0880-52-1276 <http://www.gallery.ne.jp/~nisitsci/>



▲地域流通商品券「ウェス土佐」



▲移動販売車でも利用できます

Topics

「こうち山の日」を日本酒で応援

「こうち山の日」(11月11日)のキャッチフレーズを銘柄にした日本酒「森はともだち」を須崎市の酒店が発売しました。四万十川源流域で栽培された無農薬米や伏流水で仕込んだ純米吟醸酒で、売上の1%が森林保全活動を行っている「NPO土佐の森・救援隊」に寄付されます。

●お問い合わせ/須崎市「酒のとくひさ」 TEL.0889-42-0304